

九州トレセン U-15 報告

期 日 2013年11月30日(土)～12月1日(日)

会 場 大分県中津江村(鯛生スポーツセンター)

大会結果 Aパート(福岡・宮崎・沖縄・大分)

Bパート(熊本・佐賀・長崎・鹿児島)

※今年7月のトレセン大会の結果よりパート分けを行う。

(予選リーグ)

大分ー福岡(1-4)	熊本ー佐賀(4-0)
沖縄ー宮崎(0-1)	鹿児島ー長崎(1-1)
大分ー沖縄(3-3)	長崎ー熊本(2-5)
福岡ー宮崎(2-0)	佐賀ー鹿児島(3-2)
福岡ー沖縄(2-1)	佐賀ー長崎(2-1)
宮崎ー大分(2-1)	熊本ー鹿児島(2-1)

Aパート(福岡3勝・宮崎2勝1敗・沖縄1分け2敗・大分1分け2敗)

Bパート(熊本3勝・佐賀2勝1敗・長崎1分け2敗・鹿児島1分け2敗)

(順位決定戦)

優勝決定戦	熊本ー福岡(2-2) PK3-5	1位	福岡	2位	熊本
3位決定戦	宮崎ー佐賀(2-3)	3位	佐賀	4位	宮崎
5位決定戦	沖縄ー長崎(1-2)	5位	長崎	6位	沖縄
7位決定戦	大分ー鹿児島(1-4)	7位	鹿児島	8位	大分

(総括)

毎年恒例となったU15トレセンリーグだが、今年はU17の世界大会を終えた吉武監督に来て頂き、選手や指導者へのレクチャーを行った。ゲーム前のレクチャーでは、実際にU17世界大会のゲーム前のミーティングと同じように行って頂き、選手達をゲームに送り出してもらった。ハイプレッシャーの中で発揮できるテクニックをという事で、各県のスタッフにもお願いをしてゲームに取り組んだ。年々、この時期に来て軽快な動きを見せる選手がほとんどになり、あらためて、長期のリーグ戦で戦う事の好影響が現れていると感じている。そして、今回のこのリーグ戦の選手の中から、U15の代表合宿にも選考された選手もあり、選手達のモチベーションも上がっているのではないかと思う。ゲーム内容としては、もっと意図を持ったゲームを行うために、見ておく事、見れる準備をする事やベースとなるテクニックの質を上げる事がさらに必要であると感じている。

九州サッカー協会三種技術委員長 井川 雄一